



考經譯說  
全

口仁12  
1.588





門 口 七 一 三  
號 卷  
1585



孝經釋說

京師

馬會通仲觀述  
男遵義元倫校



孝經ハ学庸ニ似ヨリテ子思氏ノ授ノ仲尼嘗子  
ヲ假設シテ之ヲ述作セシモノナラシ然レ取ベ  
コト多シ初学ノ士喜リニコレシ廢スベカラズ  
近世之ヲ疑フ人多ク之ヲ廢スルモノ多シ嘆  
クベキコトナリ

仲尼至之乎  
仲尼ハ孔子ノ字ナリ其中庸ノ始末ニ仲尼ト云



テフノ中ハミナ子曰ト云ニシカバフテ之ヲイ  
ヘドモ中庸ハ初ニ聖人ノ道ノ由ラ起ルトコロ  
トクユヘ褒聖人ニ別ツタノニ孔子トイフハツ  
ナレトモ子思モ孔子ニシテ別レガタキユヘ仲  
尼ト称スルナリ

今コノ作者ハ之ヲ密ニセズ此編ノ始ナルユヘ  
中庸ノ始ニ傲テシダリニ仲尼ト称スルナベシ  
サテ此編ハ一篇ノ文章ニテ字法句法段節行函  
貫通スルヲ章ヲ分テキレクニスルハ後人ノナ  
ス所ナリ開宗明義ナドイフ名ハ章蒙ノミロケ

ルタノニツケシ名ナルベレ後ベカラズ

閑居ハ礼ヲ執オコナヒ或ハ對客ナドノ時テナ

シ閑暇元事ニシテイ玉フ時ヲイフナリ

論語中曾參ノコトハソノ字ヲ称セズ姓ト氏ト

テ之ヲ称スルハ礼記ニ云トオリ曾子ハ容貌莊

嚴ニシテ篤実ナル人ナルユヘ常時特ニ貴ベリ

故ニ君子俗ニタガハズシテ曾子ト云テ貴稱ス

ルナリ

ソノ実ハ顔淵子貢ナドハ後群スグレシ人ナリ  
有子モ亦是ト同シソレユヘ論語ハ衆弟子ニナ



字ヲ稱スルガ通例ナレドコノ二子ハ通編之ヲ  
子ト稱ス又學ヲドモ之ニ從ヒ曾子ト稱スルユ  
ハ此編及ヒ諸子百家ニ十曾子ト稱スレカレ  
ニ十論語ノ微之ヲレリタルニアラズ  
侍坐ハ師ニ事ルコト居ニ事ル如クツ子ニツノ  
例又ハ次ノ回ニハニベルユヘ參トフノ如クヨ  
ト王フナリ師ノ弟子ニ於ルハ父ノ子ニ事ケル  
如クナルユヘ名ヲコブナリ  
先王ハ堯舜禹湯文武ヲサス至徳ハ至極至妙ノ  
徳ニテ藝詩及ヒ中庸ニ之ヲイフ要道ハ簡要カ

二

十ノノ道ニテ至徳トイフユヘ之ヲイフナリ以  
ハコレヲ引ニソシテトイフコトナリ訓ハ言ト  
川トノ二字ヲ合セシ字ニテ上ヨリ下ヘスラ  
ト滞リヤクフレナガスナリ同ハ假用ナリ之ニ  
スガリテトイフコトナリ  
上ハ君大夫士ナリ下ハ万民ナリ又上ハ諸父諸  
兄ナリ下ハ諸子庶弟ナリ女ハ汝ト同シ之ヲ内  
ニシ親ムコトハナリ知ハ之ヲ心得テ握スル  
ナリ午ハ疑ノコトバニテ邪ノ字ヨリ重シク  
二句首聯中六句中聯一句尾束合テ九句ヲ始小



節トス

曾子至格女

辟席ハ之ヲ敬スルナリ侍坐ハ席ニ坐レテトモ  
リシガ孔子前文ノトナリノ玉ヒシユヘ之ヲ敬  
シテ席ヲノケ立ラコレシイフナリ古ハ立シ以  
テ礼レスルユヘナリ敬ハ敬疾トテシヤンク  
トコレヲ行フナリ  
不敏ハラキアカズトイフコトナリ以行ヒシ主  
トスルユヘ不敏トイフ身ハ上ノ身ニ接シト  
リツケルナリ夫ハ之ヲ改メ尊ブ立ナリ孝ハ

大徳ナルユヘ夫孝徳之本也トイフテ上ニ至徳  
トイフハコノ孝ノコトナルヲ示スナリ

孝ハ老子ノ二字ヲ會セシ文字ニテ老人シイタ  
ルヲ尊ビ子タル道ヲ以スルナリソレユヘ只父  
母ニ事ルノミナラズ諸父ハ勿論スヘテ老人ヲ  
尊フヲ孝トスルナリ徳ハ得ナリ学テ之ヲ自  
得スルナリソレユヘ又特也ト解シテキジ生ツ  
キノ特標ニサナトスルナリ  
ソノ結ハ真心ニシテ之ヲ行フヲアワセシ文字  
ニテ真直ニ易直ヌナナル心テ之ヲ行フヲ云



ソレユヘ人ミナ之ニ帰服スルヲシ天地神明モ  
感應シ玉フナリ孝ハ父母ニ事ル道ニテシレタ  
ヤフナコトナレ凡学ヲ之ラ不得レ之ハソノスチ  
別レズ且聖人ノ道廣大ナレドモ只コノ一孝ニ  
帰スルユヘ徳之本也トイヘリ

教ハ上ノ訓ニテ天下一遍ニオシヘサトスナリ  
且六孝ヲ奉トスルユヘ孝文ノ二字ヲ合セシ字  
ナリ孝ハ五典ノ奉ナリ之ヲ文ルニ礼樂ヲ以ス  
ルナリ教ハ徳ヲ以スルモノユヘ之ニ稱シテ教  
之所由生也トイフサトヘハ春草木ノ芽出シノ

自然ト生スル如ナルナリ

後坐トハソノ言長レバ又席ヲシキ坐シテキケ  
トイフコトナリ 吾ハ身ヲ以イフ之ヲ身ニク  
メシテイフナリ 招ハ心得戒トスルナリ 吾言シ  
為招吾コレヲ服行シテ之ヲイフニ〇三句皆聯  
次三句中ニ也ハ上ノ二字ニトウツケカ、ヘル  
ナリ 次二句尾合ナハ句ヲ皆小節トス

身体至終也

身ハ一身ナレ凡コノテハ頭腹ヲ支トス體ハ面  
手両足ナリ髪シイテ鬚ヲ包ス膚シイフテ皮肉



六  
ツ包ス 敢ハキシテトイフナリ 毀傷ハソコ  
ナヒヤブリキヅクニ 孔子ノ南宮ヲ邦有道  
バ不廢邦无道バ免於刑戮トイ、管子ノ門弟子  
ニ啓テ足彦子トイ、シモト是ニテ身ヲ換  
ミ道ヲ守ルヲイフニ  
立身ハ独立スルヲイフテ位ニ立ラ包ス俗ニ云  
立身出世ノナリ然レニ時アリモシソノ時ヲ  
エザレバ家ニ在ラ通ラ行フモ同レナリ伯夷  
叔齊及ヒ孔子諸弟子ナドモ十量ナリ〇四句首  
也ハ接法次四句尾 也ハ節法 コノ二也ハ上

ノ二也ニ合ス右合ラハ句ヲ尾小節トス

夫孝至其德

上ニ合セ夫孝トイフテコレヲ更メ括ルニ始ハ  
有之始ニ合ス父母ニ事ルノミナラズ伯叔父母  
及ビ伯兄舅姑ニ事ルヲ孝トスルユヘ事親ト云  
ナリ古ハ四十二シテ仕ヘ七十ニシテ致仕スル  
ユヘ中於事君ト云  
孝君ハ立身行道タメナレ凡モシソノ時ヲエガ  
レバ家ニ在ラ通ラ行フユヘ終於立身トイフ孔  
子ノ惟孝友子兄弟施テ有政レノ玉フ量ナリシ



カルニ家ニ在ハ行道トハイ、ガキ<sup>七</sup>ニエ立身ト  
イフテ事君ノ句ヘカケ又行道ト揚名於後世ト  
シコムル也

又中コ口仕テモ故障ニテ返クトアルニヘアト  
ヘコワシラ之ヲ云、終ハ孝之終ニテラス亡ハ  
無ヨリフカシ滅亡ノ義ナリ、念ハ心ニワスレ  
ズ今心ヲ念トス之ヲ昔ノ事トセズ今ノ事ノ  
如ク心ニ思フナリ  
ルハ業トシテ之ヲ勸勉セシムルコトハ、事  
ハ優ナリ之ヲ念フラムダセズ之ヲキツカケト

スルニ、修ハタ、キコナシツキコナス、其ハ  
ツノ祖ヲサス、先王ノ徳ヲ先祖ノ徳トスルガ  
孝ナリ

本節ニ先王ト云ユヘ之ニテラシテルノ祖ト云  
同デイヘハ文武ヲサス、コノ始ヲ引テ学デ徳  
ヲ修子バ孝ニナラヌクシノス、レカレバコノ  
段ハ總序ニテ天子ヨリ庶人ニテノ孝ノ心得ラ  
アケ孝ニ上下ハナキユヘシ  
レカレバ天子章諸侯章ナド、キレクニスルハ  
非ナリ本文ニ此天子之孝也此諸侯之孝也ナド



イフハ作者人フカキ主意アルヲハ三句首次  
三句尾合テ六句ヲ結小節トス以上合テ廿七句  
ヲ首小段トス

愛親を極之

コレ天子ノ孝シアゲントスレモカヒツコシテ  
イフレヌユヘ中庸ニ舜其大孝也与トイヒ呂刑  
ニイフ所ニヨリテツノ平易ナルヲイフテ庶  
人ニテノ手本トナルユヘニ徳教云ニト首ノ  
至徳要道徳之本教之所由生ナドニテラシアヒ

考テ之ヲシルベシトイフ之ニテ略ニニ之ヲイ  
フガ作者ノ深意ナリ  
○四句始聯結 不敢ハ上ノ不敢ニ合ス三於  
下上ニ合セ於後ノ於ト下ノ二於トデコレヲハ  
サム 愛親者ハ人愛之敬親者人敬之ニカレハ  
愛敬ノ道ハ益於事親ユヘ益愛敬於事親トイワ  
ズ  
凡徳教ハ愛人ト敬人トニ不出人ヲ愛スルハ仁  
ナリ敬己ハ知ナリ知ト仁トシ人ノ道トスルユ  
ヘ必ス愛敬ヲ句頭ニアグコノ文躬ヲ以テ人ヲ



帥凡ノさニシテ不言ノ放ソノアヒガニミユ一  
人ハ天子ヲカス人ニ慶シイ、神ニ祥ヲイフ庶  
愛シ慶トス室家相慶スルニテイワユル攸好  
徳ノ美ナリ兆民ニアヒ愛敬スルニハ頼之ト云  
頼ハ倚頼ナリ 愛敬ノ句ヲ結起法トス次三句  
ヲ終聯トス 也ハ格節法トス次三句ヲ終聯ト  
ス右合テ十一句ヲ始大節トス

君上至不驕

愛親敬親ニハ不驕トイフ 不驕ニハ高而不危ト

イフ驕シイフテ奢ラ包ルニハ制節程度トイフ  
コレ天子諸侯ト別ラモソノさアニ通シテ人君  
ノ及シイフし〇四句微錯夾首小節  
高而危富也

四句錯夾尾小節ニ也ハ格法  
富貴至孝也

四句結小節  
皆云至薄也

戦ハ振懐ナリ競ニハ恐競ナリコレ敬己シイ  
フし〇四句總括小節以上合テ十六句ヲ 大節



トス

非先至敢行

コレ制節程度ニ格スルニハ六アニ通シテ之ヲ

イフナリ六句猶夾始小節

爰故至叔行

四句中小節非法不言トイフテ非法不服ヲ包ル

ニハ次ニ遷行ヲ轉シテ通トイフ又三者備トイ

フテ上ニ格ス

言滿至孝也

卿大夫八居ラタスケテ節令ニ所行ヲ以之ヲ帥

擗

指云至一人

コレモ六諸侯ヲコメテイフニハ事一人トイフ

且天子ノ卿大夫士ハ諸侯ナルニハコノ三

句ヲ結小節トス以上合テ十九句ヲ大節トス

此トナレハ必ス天下トイフテ天子ニ通シ又宗  
廟トイフテ天子諸侯及ヒ大夫士ニ通ス 六句  
終小節 矣ハ節法也ハ上ニ合テ節法トス

資於至敬

資ハ之ヲ取モトデトスルニ易ニ乾資大始ト云



モコレノ○且句迄均指錯夾始小節コレモ六居  
大夫へモ通スルニ於ノ字ハ上ニ合ス  
故母至父也

愛敬ニ十父ニ事ルニトルコへ兼之トイフコノ  
三句ク同小節トス

故以至孝也

故ハ字エツノ以ノ字ニ十上ニ合也一ノ以テ之  
指ルニ且句ハ孝弟ヲ奉トスルコへ指唇論語十  
ド孝弟トイフハ箋慈友ヲコムルコへコ、ニモ  
弟ヲ加フ弟ハ兄ニ事ル居ナリ故ニ上ニ事母ト

のフナ事兄シコノルヲ示ス

サテ官ニハ長屈アルコへ以事事長トイフ是ハ  
諸侯大夫モ同キコへ忠順不失以事其上トイフ  
ナリ上ハ君長ヲ合ナイフニ采地アル士ハ一席  
ヲ立レニ采地十キハ寢ニ祭ルコへ守其祭祀ト  
イフ

○二句ハ首三句ハ中一句ハ尾合テ七句ヲ終小  
節トス弟ヲ行フモ箋慈友ヲスルモニ十先祖父  
母ヘノ孝トスルコへ孝也ト云

侍云至所生



士以上ハ学ヲ修テ徳ヲ修テ又ユヘコノ指ヲ  
引テ始テ之ニ悉ハケガスル所生ハ先祖父母ヲ  
イフココノ三句ヲ始小節トス以上合テ十八句  
シ大節トス

十二

因天至孝也

コレ中庸ノ上律天時下戴水ト云ニ本ツキテ天  
地ヲ经纬シ事業教化ヲ勉ミ立テ人ニ時ヲ授ル  
シ云ナリコレ王者ノ事ニシテ庶人万民ノアツ  
カイルイニアラズ民ハ其ノ時ニ先後ヒズ農事

家業ヲ出精スルヲソノ分トス輪始ニ使民以時  
トイ、七月ノ時ニイフ所ニ十世ナリ  
故ニコレ民ノ天時ニヨリ地利ニ就テ農作スル  
シイフヤフナレ氏ソノ実ハ上ノコレヲナスラ  
微言スルシ小雅信南山ノ詩ナドニヨツテ之ヲ  
シルベシ由是コレヲミレバ天子諸侯卿大夫ナ  
ド、別ツハ假設依放ノナリ  
ソノ実ハ天下シ一家トシ天子モ万民モミナ天  
淵ニテ一身ノ如シ易ニ近取楮身トイ、虞舜ニ  
元首股肱耳目トイフコレ故ニコノ段ハ錯綜



レヲコレヲイフコトニ故自天子云々ト總結  
スルニ禮身節用ハ制節禮度ト身先杖行ニテラ  
ス義父母モコレヲ上下へ與スルニ士以上ハ益  
トイフコレヲ授重スルニ庶人ハ此トイフコレ  
ヲ輕易ニスルニ

民ヲ庶人トイフハコレヲ立テアシラヒ人通ス  
スルニ庶人ハ學校ニ入テ學ヘヒ只五史ノ教五  
禮ノ大略ヲ教ヘ持各ヲ誦スルヒツノ訓ヲ教ル  
ノミ只ツ字訓文義ノ大スチナリツレユヘコト  
ハ持ツ引ズ○五句前小節孝也ハ六例結シ

故自至有也

故ハ上ノ二ノ故ニ合テ收ム終始ハ前段ノ始終  
ニテラシキヤム○四句後小節右合テ九句ヲ尾  
大節トス以上五大節合テ七十七句ヲ前小段ト  
ス也ハ段法

曾子至則之

上下錯綜應照スルユヘ甚哉トイフ自天子以下  
トイフニ接シテ舜ノ大孝ノ志ヲフクムユヘ大  
トイフ哉ハ上へハ子モトシ三ノ也ハ段結ノ  
也ニ接ス夫孝ハ前段ニ合ス天地モ上ニ合ス



時ト利トハ事業デイフ経ト禎トハ教化デイフ  
以テ教化事業アヒ和シテ之ヲ行フヲ示ス故  
ニ次ニ又天之明地之利ト云  
性ハタラシキ綿ヲ包ス綿ハ又キシ性綿ヲキヌラ  
キルヲシ五典モ孝ハ性ノ如シ愛慈友弟ハ綿ノ  
如シ性ヲ立トスルニ又ハ次ハ天地之性トイフコ  
レ天叙有典勅戒五典ハ性哉ト云ニツヒテ聖人  
ノ孝弟五典ノ教ヲ立ニ立玉フヲイフニ孝經ノ  
名コトニ出  
論ハ箋ト同ジ上ニ地之利トイフニ又トイフ

箋ハ利ヲヒキユルモノノ文言ニ箋利之和也ト  
イフコレハ經トイヒ箋トイフテ教ト事トアヒ  
和スルヲシメス此行ハ躬行ナリ礼教ヲ以テイ  
フコレ三才ヲ兼用スルヲ微言ス天ニ對シ且民  
ニ行フヲ立トスルニ又トイフテ人ト云ズ  
聖人ノ経緯スル所ナレバ天神地祇ノ監護ス  
ル所ナルニ又天地之性トイフ又天地ハ君ト大  
臣トニ比ス君臣合体シテコレヲ大經トシテコ  
レヲ行フコトニ又民自然トコレニ則ルニ〇ニ  
句首次四句中次二句尾合テ八句ヲ始小節トス



微言ヲ以テ示レシ云

則天至而治

中庸ニ如日月之代明トイフニハ則夫之時トイフ居徳ヲイフニ因ハ因循ナリ地之利ハ万物ヲ生長スルヲイフ大臣ノシワザヲイフニ以訓干天下ハ首段ニテラレテ至徳要道ノ至シシメスナリ

肅ハ長編ナリ凡ソ教ハ權威ヲ以セズ居ノ徳ニヨレリ政ハ正ナリレハ訓ナリ其身正レハ不令不モ行ルトイフハ結ナリ結ハ君子ノ修止所

今リ訓ハ万民ハモホシユスヘテ名物ニナコノ訓ト結トアリ後世ハ之ヲ混ズ法制ヲ改トイフ禁令ヲ改トイフモ結ナリ凡政ハ臣ノ位スル所ナリ〇三句始二句終合テ五句ヲ前小節トス

先王至知禁

先王ハ首ニテラシテ大禮ヲサスニハ明王ヲイフ明王ハ徳体ノ立ヲイフ也ハ上ノ孝也トテ中ノ三ノ也ヲハサム博愛ハ仁ヲイフ樊遲問仁子曰愛人子思曰仁人也親ニ為大義宣也博愛者



大トコレラニ本ヅクハ  
是故ハ上ニ合テ三ノ故ト是以トシハサム〇一  
句首次四句始 不淨ハ壞ルナリ 和贖ハ首段  
ニテラス 三句終次二句結右合テ十句ヲ終小

節トス

詩曰至尔瞻一

赫ニハツノ 德熾盛ナルヲイフ師ハ大師ナリ尹  
ハ氏ナリルハ師尹ヲサス瞻ハ瞻望ナリ大師ハ  
王ヲサスケテ政ヲナス舜禹伊尹周公ノ如キコ  
ハシ故ニコレ民則ト云ニテラス〇三句尾小

節以上合テ廿六句ヲ前大節トス

昔者至先王〇

明王ハ大業ニイハユル明ニ德ナリ殷ノ中宗高  
宗ノ如キハ是ヲ感トス 也ハ上ノ民也ニ接ス  
〇三句前二句後合五句 小節 年ハ節法

治國至先君〇

繆寡百姓ハ天子ニシカリ〇三句始二句終合テ  
五句 小節  
治家至其親〇



是亦人君之由也コレ上ノ天子指後知大夫士ヲ  
別ツニ合スシカレバ欲昇天下者先治其國故治  
其國者先齊其家ト云リノヘテ上下アヒ通シテ  
之ヲイフコレニヨツテ之ヲミレバコノ端ハツ  
レ子思氏ノ門徒ノ作ナルベシ○三句始二句終  
合テ五句終小節

夫然至不作

敬心ノ字夫然ノ字ミナ新奇ナリ四ノ故ハ上ノ  
三ノ故ニ合テ是以ウハサム 皆以之上一合テ  
受故ト四ノ故トウハサム天下和早ハ治天下ニ

テラレテ之ヲ統 ○三句首三句尾合テ六句ヲ  
尾小節トス

故明至煩之

故ハ四故ヲ收テ是以ウハサム明王ノ句モ上ニ  
合テコレヲ括ルニ詩ヲ引テ明王ノ意ヲイフユ  
ヘム曰トイフ學バザレハ夢ノ如シ學テコレヲ  
サトリ明白ニシテ目ノ覺ル如クナルユヘ覺意  
行トイフ○二句始三句終合テ五句終小節以上  
合テ廿六句尾大節以上ニ大節合テ五十二句ヲ  
中小段トス



管子至人也

天地ハ又上ニ合ス性ハ万物ヲスヘイフ素誓ニ  
惟天地ハ万物ノ父母ナリトイフエハ天地之性  
トイフニ奇用字法ナリ 又惟人ハ万物之靈ト  
イフエハ為貴トイフモ六珍ニ周公ハ成王ヲク  
ス改テ執玉フエハ其人也トイフテ明王トイフ  
ニ榜ス〇二句首 字榜法次七句中次一句尾合  
十句前小節 也榜節法

昔者至孝字

昔者上ニ合テ今モコレアラシム欲ルニ却テ

ハ孟春正月天ヲ南郊ニマツリ后稷ヲ配シ日月  
星ヲ三望スルニ宗ハ尊ナリ文王ヲ祖宗トシテ  
マツリ武王ヲ合スエハ宗祀トイフ明堂ハ孟子  
モコレヲイ、礼記ニモ明堂位アリ

周公洛邑ヲ作り鎬京ノ清廟ヲウツシテ文武ヲ  
マツルマ浴造ニアリケダシコレヲ明堂トイフ  
ナラン明ハ清明ナリ 是以ハ上ニ合テ一ノ故  
シハサハ四海ノ字モ首ニテラス岳牧五長各ソ  
ノ職アリユ人其職トイフ故ニイワズ夫トイ  
フモ奇ナリコレハ故ノ字ト錯案ナルコト



故トイヘバ次ノ受故ガハナリガキニヘ夫ト  
イフニ聖人云ニハ前節ニテラシ收ム〇四  
句前聯次二句後聯次二句結合八句始大節

受故至本也

是故ハ上ニ合テ五ノ故ト二ノ是以トシハサム  
疏ハ音ト同ジ日蔽ハ長ズルニ從テ不怠ライフ  
コレ人為貴トスルユエニナリ湯誓ノ惟皇上帝  
降衷于下民若有恒性克終厥猷惟后ナリトイフ  
シノフルニニ因親トイフテ上ニ日蔽且親  
トイフヲ略スルヲ示ス

聖人之教ハ聖人之德ト首尾又次ノ二句ハ前段  
ニ合ス本也ハ首ニ接ス教之所由生トイフヲツ  
てゴウカニスルニ蔽親ノ本ハ孝ナリコレ鳥獸  
ト核群ナル所也〇四句首次回句尾合テ八句ヲ  
尾小節トス以上合テ廿七句前大節

父子至愛焉

父コレヲ愛シ子コレヲ敬スコレ天ノ人性ニ於  
ル鳥獸ト異ナル所ナリ故天性也トイフ君臣  
ノ義ハコレヲ父子ノ義ニ資ルニ人君臣之義ヲ



アガ之ヲ敬シ之ヲ愛スルハ十ヲ忠臣ノ愛ノ如  
ナルニヘ君國之愛也トイフ受上ニウケテ聖人  
ノ之ヲ教ルハミナソノ自然ニ因ラズ  
又父子之通天性也トイフテ君臣之愛天命也ト  
イフラ包ム子張ノ士ハ見危致命トイフコレシ  
○三句前聯 二ノ也ハ本也ト接ス  
上ハ父子トイフテコノハ父母トイフハ之ヲ君  
親ニ聯シテ元心ハ作民之父母ノ愛ヲクムシ  
係辭ニモ如父母臨トイヘリ嚴臨スルハ朝廷學  
宮者畏トドシ以テ之ヲイフ國風ニ日出有曜ト

イハ大雅ニ不顯公臨トイフ是ナリ  
生之トイフテ毓之ヲ包ルニヘ後トイフ日ヲ積  
テシアゲル如クソノ功ヲイタスシ積トイフ積  
厚トテ濫ヲナシ位ニス、ムニヘ之ヲ敬愛セガ  
ルベカラズコレ有造ノ時ヲ以テ之ヲイフし○  
四句後聯猶夾合テ七句前小節  
不愛至後也

コレソノ人ヲ以テ之ヲイヘ凡ルソノ時ノ非十  
ルニコレリ教ナキニヘ之ヲ敬ニ次ニ以テ訓云ト  
イフ悖禮ハ濫ニモトリシニナク是悖禮ハ礼ニ



モトルヲ礼ト心得ルシ○六句首錯夾世一  
訓ハ人君又ハ大臣ヲ以テライフ昏昧不恭  
ニシテソノ令スル所ノ好ム所ニ及シテ民不  
從ユヘ亡則トイフ以訓天下ト民是則之ト及  
照スルシ○二句首起結 号ハ上ノ二号ニ接ス  
次二句中夾  
皆ハ悖禮悖礼ヲサシヌソノ人トソノ人君大臣  
トヲサス 而ハ上ノ二ノ而ニ合セ二ノ於モ上  
ノ二ノ於宅ト在トアヒテラシ次ノ二在ニ聯ス  
ルニハ在於ライフテ局トイワズ 次二句尾

得志ハ位禄ライフ也ハ本也ニ合ヒ中ノ二也  
三焉ヲハサム 合テ六句ヲ尾聯トス右合テ十  
二句始大節

君子至家之

君子ハ上ニ合ス則ハ則昏トデ亡則ヲハサム言  
行ハ言漏行漏ニテラス道ハ不敬道ニ合テ道説  
ノ美トス濫美モ上ニテラス是以モ上ニ合テ量  
故ヲハサム之ヲ上下ノ其民ヲレニ臨ハ親臨  
ニ合セ畏ハ敬ニコタヘテ愛テ上ニ合ス二ノ之  
ハ生之臨之トデ二ノ招之ヲハサム則ハ亡則ト



子則不レカレム字法如レ是嚴密十リノ一句節次  
二句始次四句中六ノ可聯次一句倍次二句  
尾合テ十句終小節

故能至不成

故ハ上ニ合テ二ノ是故ト是以トシハサム徳教  
政令ハ上ノ教ト政トシ收ム詩云ハ始ト復シテ  
中ノ詩曰ニツラハサム君子ハ上ノ二ノ君子ヲ  
收ム三ノ其ハ上ノ二ノ其ニ合ス〇二句始次  
三句終合テ五句尾小節右合テ三十四句後大節  
以上合テ六十一句ノ後小段トス以上合テ二百

十七句ノ前大段トス

孝子至其親

上ノ君子ニ轉接シテ孝子トイフテソノ本シト  
キ家居スルモノヲイフユヘ居則ト云起則ソノ  
君ヲ敬スルノ之ニ資ク微示ス家有嚴忌父母之  
謂也ト易ニイフハコレト上ニ愛之トイハコト  
ニ其敬トイフテ上ノ愛ト敬トニ分イテラス養  
ハ汎ク養給スルヲイヘ氏コトハ酒食アル時ヲ



主トシテイフユヘ其樂ト云

父母ハ唯其疾ヲ憂トイフユヘ之ヲ敬トイフ嚴

モ首段ニテラス上ニ敬シイフユヘ嚴トイフ喪

思哀祭思敬ト云々本ツクニ 五敬聯法五其上

ノ五其五則ノ聯ニ合ス 上者備矣ハ三者備矣

ニ合ス〇一句首起次五句中次二句尾合テ八句

首小節

事親至不爭〇

コノ聯棒ヲセンガタノニ上ノ結句可謂孝矣ト

イワズ居上不驕ハ首ニ合ス 喪コレヲ醜惡スル

醜トイフ无道ノ時ヲ以イフ不爭ハ上ニテラス

〇四句前小節在ノ字モ上ニ合ス

居上至孝也

要言ハ居ノムナクテ執テウケカサヌヲ云フ

レシ穢武仲以防求為後於魯ト云ニトル〇二

句前三句後一句結合テ六句前小節 也ハ接節

法ナリ

教民至己矣〇

四ノ莫喜ハ止レ莫大ヲウケ轉ズ孝身礼樂ツク

ニ之ヲ敬ニ帰シテ下文ヲ起スヨツテ樂礼トツ



ハケテ上ハ礼順ト首尾ス工ミシ〇四句首四句  
尾一句結愛ト敬ト六首尾シテ首ニテラス而已  
笑ハ助字ハ極本トシテ只敬ヲ重ニスルニ右令  
テ九句始小節

故敬至道也一

要道ハ首ニテラシテ之ヲ收ム道也首尾シテ中  
ノ敬而已矣ヲハサミシニル〇三句前五句後合  
テ八句終小節以上合テ廿三句中大節

君子至者也

君子ハ上ニ合テ孝子ヲハサム〇二句首 二ノ  
也ハ接法 教以孝ハ聯接シテコレニ以テ以佳  
ク届シテ上ノ父子兄弟君臣ニ合ス六句錯夾三  
ノ所以三ノ天下三ノ者也聯法 右合テ八句前  
小節

詩云至者乎

上ノ詩云ニト下ノ詩云四トデ中ノ詩曰ニシハ  
サム首ニ召刑云リキク天子ニスベルユエンシ  
徳ハフノ子身ト際概シイタハルニ悌ハフノ兄  
長ニ弟順ナルニ天子諸侯ハ公卿大夫士ヲ伯叔

惟



兄弟トシテアヒ親睦スルユヘ之ヲ樂易ナリト  
 ス大早元事ナリト至德モ首ニテラシテ之ヲ收  
 結スルハ訓民ハ訓天下ニテラス上ニ三ヒ天下  
 シイフユヘ民トイフテ民之父母トアヒカヘリ  
 ミシニルシ 大ハ上ノ三ノ莫大ヲ收ム者ハ上  
 ノ三者ヲ收ム 午ハ段法ナリ  
 ○三句始ニ句終合テ五句後小節以上合テ十三  
 句後大節以上三大節合テ五十三句ヲ後小段ト  
 ス上ノ五十二句トデ中段六十一句ハサムニ

昔者至下治

昔者至下治  
 昔者至ハ上ニ合テ昔者周公ヲハサニ成王ヲサ  
 ス天地五上ニ合ス中庸ノ察字天地ニ本ク長幼  
 ノ二句ハ暗ニ憶持ノ二句ニテラス三ノ故モ上  
 ニ合テ聯用ス○六句錯夾節小節

天地至長也

天地至長也  
 天ハ天神日月星辰及ヒ上帝ヲ云 地ハ地祇社稷  
 山川ナリ聰明ト威敬明ナラシムトイフ密察ニ  
 シテ生養ヲ不失ヲ察トイフソレ事天ヲ敬明



ナリ耶祀及ヒ天命ヲ敬崇シ天道廿六ヲ奉若スルヲ  
イフ事地ヲ密察ナリ祀稷山川ノ祀及ヒ五服九  
州土田貢賦ノ制度跡令ヲ密察スルヲイフニハ  
ニ天地アヒ合テ明察ナリ万物万機ニ於ルヲ以  
テ之ヲイフ是政事ニ業ヲ主トシ云  
鬼ハ人鬼宗廟ヲイフ神ハ天神ニシテ地祇ヲ包  
トシトツノ濛ヲ合スヲイフ礼樂教化ツノ所ヲ  
謂煠トシテ文章アルヲ章トイフ故ニ天地ハ衆  
ニ十之ヲミルホヲイフ鬼神ハ君子ノミ之ヲ諦  
ニスルヲ以テ之ヲイフ此文易ノ神道以テ教ト云

ヲ述ルユヘ微言多シ

○二句皆 故ハ上ノ三故ニ合ス雖天子トイハ  
ハ諸侯以下有尊有先ベキハツト以テ上ヲ亡ス  
ベカラス父ヲイフヲ母ヲコメ兄ヲイフヲ弟ヲ  
コメテ上ノ父母長幼ニ合ス然レ依放シテ昊天  
上帝社稷山川ノ外神ニ事ルカ生トシイフニハ  
以テ父ト兄トヲイフテ神人ノ上帝ニ官タル秩序  
ヲ微示スルニ  
上帝ヲ尊トス天本之ニ父トシ事ルユヘ有父ト  
イフ日月星辰ハ定ニ官トシ牧宰任トシテ典礼



教化ヲ監シ天命天道ヲ司ル社稷山川モ亦之ガ  
官トシテ政刑事職ヲ監シ文長養濟潤ヲ司ルニ  
ヘミ十天子ニ先ダキニキニ之ガ諸兄タルガ  
如キニ有先有兄トイフニ  
天子諸侯卿大夫士モ亦之ガ官トシ牧準位トシ  
テ制度節令ヲホドコシ礼樂教化ヲ行フニヘ天  
神地祇ノ天子ニ於ルハ於牧長タル如キニヘ必  
有長トイフ是神道機密ノアル不ナルニヘ有長  
ワケヲイワズ不知モノハ缺文トス思テ之ヲ得  
セシムル

廿七

此文之ヲ難言スルニヘ必トイハ又每句也ト  
イフテ之ヲ流ルナリ〇四句中夾一句尾結合テ  
七句ヲ中節トス矣ハ上ノ而已矣ニ接ス五  
ノハ儀法ニテ上ノ潤用ノ六也ニ合ス  
宗廟至著矣

天神地祇ハ本疏ナリ先祖宗廟ハ親ナリ親シス  
テ、疏ニ事ル臣疏ソレ之ヲ享ルナラシヤ故  
ニ天地ニ事ニセハ先ツ宗廟ニ事ルニアルニヘ  
宗廟敬敬不忘親也トイフテ之ニ接スソノ本ハ  
禮ヲツトナルニアルニヘ修身云ニトイフ又宗



意致敬トイフテ首ニ復シ唯孝ヲ忘レガラニ  
シ欲ル

上ニ夫孝者天之經也地之壇也トイフ此ニ至テ  
ソノ虚語ニ非ルシルベシ鬼神著矣ハ鬼神章  
矣ト首尾又宗席モ亦上帝ノ宮居ナリ故ニ大雅  
ニ文王陟降在帝左右上帝之ヲ鬼神祇ニ命シテ  
書トシテ著明ナリ之ヲ佑ルヲイフ  
用ノ婦ナリ先聖及格人ノ天ニ帰往スルヲイフ  
ナリ〇四句錯夾二句結持合テ六句尾小節

孝弟至不服一

孝弟ハ有父有兄ニ接ス通ハ明察ニテラシ光ハ  
章著ツカヘリミル及至リ暨ト曰无所暨故ニ  
彼无所服ナリ〇四句合均微夾次四句同夾均結  
合テ八句結小節以上合テ十七句前大節

君子至世矣

君子ハ愷悌君子ニ及ヒ孝子之事親及ヒ明王事  
父孝ニテラシテ上ノ資於事父以事君シ復說シ  
キサム條理治理トイフ理トイフ治ハ水スギシ  
通シ治ニタルヲイフ是以ハ上ニ合テ八ノ故



ヲハサム行ハ與行ニテラス立名於後世ハ上ノ  
揚名於後世シク  
前ハ明王ヲ以之ヲイフユヘコハハ人臣デイフ  
居臣アヒ遇ザルベカラス 矣ハ上ノ二ノ矣ヲ  
一收ス〇六句錯夾次二句相續合テ八句ヲ前小  
節トス

閨門並役也

閨門ハ内寢ヲイフコレ居家理ニ接ス内ハ成於  
内ニ合ス異礼ハ礼者敬而已矣ニテラス矣年ハ  
世矣ト者年ニ倒用シテ合ス二ノ敬ハ致其嚴ニ

テラス 親兄ハ事親事兄ヲ復ス妻子臣妾ハ之  
ニ屈ス万民礼教ニ昭明ニシテ族姓ヲ別ツル百  
姓トイフ後役ハ附文疏後ノ類ナリ  
妻子臣妾カクノ如クハ親兄ハ於君長ノ如ク  
コレソノ治可移於官ヲイフニ百姓ハ上ノ德教  
加於百姓ヲ終〇二句首次三句均指合テ五句後  
小節以上合テ十三句ヲ後大節トス以上二大節  
合テ四十句ヲ中小段トス

曾子至孝年



凡ソ六夕ビ管子ヲアゲテコ、ニ終ル愛敬ハ上ニ如接シ慈蒸ヲ加ムニ收ス揚名ハ首ニテラス矣トキトハ上ノ矣守リ分用ス。三句始二句終合テ五句首小節

子曰至通邪

二ノ与接法キヨリ輕シ邪デ之ヲ括ル。五句始

小節

昔者至其家

昔者ハ上ニ合テ之ヲ終天子諸侯大夫士モ首ニテラシテ之ヲ收ム七人五人三人ハソノ宗廟

ノ數ノ如シソノ先ニ代テ棟ルガ如シ然凡六句ニセズ當時等臣十クシテ彼臣ノミナルユハコ、ニイタルト作者之ヲ慨スルユハ假設シテ昔ニ徳セテラシク欲ルニ。九句微錯夾前小節士有至不道

令名ハ微ニ揚名ニテラス。四句後小節

故當至孝年一

二ノ故ハ上ノ三ノ故ニ合ス。三句還摺均次二句還摺合六句結小節以上合テ廿九句前大節孝年ハ上ノ孝年ニ合ス



子曰至親也

君子事親：接又思不孝子ト錯條文法〇七句  
前小節

特云至忘之

五句後小節合テ十二句後大節以上二大節合テ  
三十四句ヲ後小段トス

孝子至情也

コレ君子之事上也トテ親也ヲハサミ而送之モ  
而送之ヲハサム哭ヲ尊ニシテ他ニヨル不ナシ

ソ言コトモ希ニシテ實ナリユハ不文トイフ衣

夫錦於女安年トイフニハ服美不妄トイフ次ノ

二句ハ夫子ノ措ヲ倒用スルニ〇一句首次三句

措均次一句尾結合テ八句始小節

三日至正也

四句夾措結前小節

喪不至思之

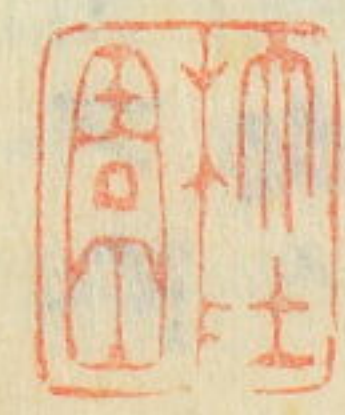
一句首也接法六句措均正錯夾次二句合夾尾

二焉二其二而三以義聯法

生事至終矣



二生三生死 三事三哀戚 十ヲヒニ 聯法愛敬八首  
 ニテラシ 孝子ハ前ニ合スニ 送之ハ上ニ合テハ  
 送之ヲハサム三矣ハ上ノ命矣ニ 標テテ之ヲ收  
 ム〇二句始均合次三句指均結合テ 五句後小節  
 以上合廿八句尾小段以上三小段合テ百三十四  
 句ヲ後大段トス





自九月十七日至十月十四日

六兩

金一分末

寶代

十月十日

二朱

攝政大臣

京相

攝政大臣

具會更於贈

長官謹啟

